

海事記念館通信



問い合わせ ☎52-4040

<http://edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji>

松浦武四郎の日記を読む 『古文書教室』

10月28日、海事記念館で釧路短期大学佐藤有紹教授を講師に古文書教室を開催しました。今回は『電子データ公開資料で読める「松浦武四郎」』『「知床日誌」(抄)』と題し、北海道の名付け親であり、江戸時代に厚岸を訪れたことのある松浦武四郎の日記『知床日誌』を教材に、古文書の解読方法やその時代の歴史背景について詳しく解説しました。解読した文章からは、道東地方におけるアイヌ民族の生活状況や、それを目の当たりにした松浦のアイヌ民族に対

する心情や人柄が読み取れ、参加者の興味・関心を大いに引き付けていました。

文化財を活かした地域づくり 『文化財歴史講演会』

9月23日、厚岸情報館で釧路短期大学佐藤有紹教授を講師に『創造力と想像性／育てる国史跡・重要文化財』と題した文化財歴史講演会を開催しました。広島県広島市の観光ツア－を例に挙げ、町内の史跡や重要文化財を単体として見るのではなく、それらを結ぶ魅力ある物語を作っていくことが観光資源として活用することにつながると解説しました。

満天の星空が見れたよ 『ほしぞら教室』

10月25日、太田小学校のグラウンドで秋のほしぞら教室を開催しました。中止になった9月の時とは打つ



▲熱心に聞く参加者(文化財歴史講演会)



▲望遠鏡から見える星に驚き！



▲自分だけのまが玉ができました

て変わって雲一つ無い夜空の下、はくちよう座の二重星(アルビレオ)や織姫星のベガ、彦星のアルタイルなどの天体を観測しました。移動天文車『カシオペア号』や小型望遠鏡で見る宇宙にはいつもと違う輝きがあり、参加した子どもたちだけではなく保護者も感動していました。

自作のまが玉を作成 『まが玉づくり教室』

11月3日、郷土の歴史や遺跡に興味を持ってもらうため、古代人の装飾品である『まが玉』をみんなで作りました。滑石といわれる柔らかい石をサンドペーパーを使って削り、形を整えた後、磨き粉を付けた布でつやを出して完成です。サンドペーパーで削るのは非常に根気がいる作業で、参加した子どもだけでなく保護者も必死に削っていました。

プラネタリウム

現在冬のプログラムを上映しています。冬の夜空は一等星が7つも輝いており、四季の中で最も豪華です。プラネタリウムの観賞は高校生以下は無料で、大人は入館料のみでご覧いただけます。

●開始時間／火～金＝15時30分、土日祝日＝11時、13時30分、15時30分

星の輝きを見てみよう 『冬の天文観察会』

秋から冬にかけて見ることできる星々を天体望遠鏡で見ませんか？

- 日時／12月14日(木)19時～20時
- 場所／海事記念館
- 締め切り／12月12日(火)
- 申し込み／海事記念館
- その他／夜間の実施ですので、防寒対策をしてください

古い道具や写真などは ありませんか？

今では使われなくなった古い道具や写真など、町の歴史がわかる資料の収集・調査を行っています。そのような資料がありましたらご連絡ください。